

離任式のあいさつ

平成24年3月29日（木）

おはようございます。

今日が、みなさんに話をする最後の機会になりました。

私が小林秀峰高校に着任したのは、平成21年春、秀峰二期生が入学した年であり、小林工業高校と小林商業高校の最後の年度で、閉校式を行ないました。そして、現体育館の建設、秀峰最初の卒業式、農業科と福祉科の開科という、あつという間の3年間でした。

その間に、小林の豊かな自然に囲まれ、地域の方々に温かく見守られながら育った、みなさんとの素晴らしい出会いがありました。みなさんの澄んだ瞳と輝く表情に心を打たれ、カメラのシャッターを押さずにはいられませんでした。この1年を振り返ってみると、約8000枚の写真を撮っていました。私の大切な宝物です。

また、礼儀を重んじ、規律正しい秀峰生は、まさに、私が思い描いていた理想の高校生の姿です。目標に向かって、日々努力し、夢に向かって真っ直ぐに突き進む真剣な姿を目の当たりにし、感動の毎日でした。素晴らしい感動をありがとうございます。

みなさんを見ていて気付いたことがあります。部活動を通して、みなさんは、チームワークの大切さ、コミュニケーション能力、感謝する心、忍耐力、責任感など、多くのことを身に付けています。さらに、これからは、「今日はどんな練習を、どのように工夫してしようか」など、自ら考え取り組む「考える力」を身に付けて行ってほしいと思います。そうすることが、練習の質を高め、「人間力」を身に付けることになるのです。ぜひ、部活動の時だけでなく、勉強する時、清掃をする時など、日々、いろいろな機会に、しっかり考え行動してほしいと思います。「考える力」は、みなさんが社会に出て、大いに役立つ「生きる力」になるはずです。

私は、みなさんとの感動を胸に、人生の新しい一步を踏み出そうと思います。みなさんも、これから、いろいろなことに「挑戦」し、「自らを磨き続ける」ことを心掛けて頑張ってください。みなさんの活躍を期待しています。

秀峰での心に残る爽やかな3年間をありがとう。